

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	南郷そば振興センター改修事業	平成11年の建設から令和3年で22年が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○製めん室天井・壁塗装等修繕 ○電動石臼製粉機更新	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、安全で衛生的な作業環境に改善されるとともに地域の特産物であるそばの製粉作業及び運営が促進され、施設内環境の改善及び施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
	青葉湖展望交流施設改修事業	平成16年の建設から令和3年で17年が経過し、附属棟3棟（炭焼き小屋・農作業小屋・屋外トイレ）、農産物加工施設棟の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○附属棟屋根外壁塗装等修繕 ○農産物加工施設棟配管継手金物交換修繕	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、附属棟3棟は、風雨等による劣化や腐食が防止されるとともに農産物加工施設棟は、従来の機能が回復され、施設の延命化及び施設内環境の改善、地域の持続的発展が図られた。
	道の駅なんごう屋外トイレ改修事業	平成8年の建設から令和3年で25年を経過し、現在、内屋根の経年劣化が進んでいるため、内部に雨漏りが発生している状況である。また、外壁塗装にひび割れが生じているため、修繕を行う必要がある。	○防風雪シート設置工事 ○防水改修工事 ○塗装改修工事	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、風雨等による劣化や腐食、雨漏等が防止されるとともに施設利用者の利便性の向上や安全が確保され、施設内環境の改善及び施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
	グリーンプラザなんごう改修事業	平成8年の建設から令和3年で25年を経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進み、特に施設内の内装（ロビー、風除室、研修室・2階客室和室の天井板・クロス・床・畳）、照明（館内、外灯、屋外看板のLED照明化）、電話交換機設備等の修繕又は更新を行う必要がある。	○内裝修繕 ○照明設備取替修繕 ○電話交換機設備取替修繕	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、宿泊施設としての美観・魅力を高めることができ、LED照明の導入で省エネ効果が得られ将来的に経費の節減になる。また電話回線のデジタル化により運営の利便性や利用者に対するサービス向上が実現され、総合的に施設内環境の改善及び施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	ジャズの館南郷改修事業	平成12年の建設から令和3年で21年が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○テーブル型冷蔵庫更新 ○空調設備取替修繕	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、安全で衛生的な調理環境が維持されるとともに空調に関しては利用者に対する快適な施設の空間が確保され、施設内環境の改善及び施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館改修事業	朝もやの館は平成15年に建設され令和3年で18年を経過、また館のやかたは平成17年に建設され令和3年で16年を経過していることから、いずれも施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいる。特に外壁や屋根の劣化顕著であり、風雨等による腐食が進む可能性が非常に高いことから、計画的に各年度において修繕を行う必要がある。	○朝もやの館 ・外壁全面塗装修繕 ・屋根塗装修繕 ○館のやかた ・外壁全面塗装修繕	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、風雨等による劣化や腐食、雨漏等が防止されるとともに施設利用者の利便性の向上や安全が確保され、施設内環境の改善及び施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
	南郷地区活性化施設連携交流事業	森と水のサンクチュアリ連絡協議会（構成団体：なんごうプラザ㈱、山の楽校運営協議会、島守田園空間博物館運営協議会）の地域の主要な観光施設が単体ではなく連携したかたちで、南郷地域の魅力を発信する事業を展開する必要がある。	○南郷の日（7/1～5） ○新そばまつり ・道の駅なんごう（10/17、23、24） ・山の楽校（10/17、24） ・田園空間博物館（10/24） ・雪蛭まつり（2月）中止	令和3年度の過疎対策事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされた交流事業があったことで、一部未実施となった。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し南郷地域の主要施設間で連携を図り交流事業を行う。 当該事業を実施したことにより、施設の連携が強化されるとともに地域全体の活性化が促進され、地域の持続的発展が図られた。
交通施設の整備 交通手段の確保	笹子・田ノ沢線 L=1,500m W=7.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備をする必要がある。また国道340号から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○移設補償 L=900m完了（進捗60.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	鳩田・中小花線 L=1,770m W=7.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 16m ○用地購入 L=230m完了（進捗13.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	人形森・中新田線 L=1,050m W=7.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 50m ○用地購入 L=420m完了（進捗40.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られる。
	島守・堤森線 L=1,936m W=7.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 286m ・軽量盛土工 ・法面工 ・ブロック積擁壁工 L=397m完了（進捗20.5%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	市野沢・増田線（増田工区） L=1,900m W=7.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備をする必要がある。また国道340号から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 50m L=247m完了（進捗13.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	七枚田・高久保線（路側・舗装） L=170m、W=6.0m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○路側補修 170m L=170m完了（進捗100.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	阿庄内・目蕪ラ線（舗装） L=700m W=7.5m	南郷地域内の市道全体の改良率は46.3%、舗装率は51.0%であり、いずれも県平均に比べて低い状況である。 このような状況を踏まえ、道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 120m L=120m完了（進捗17.0%）	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間や急勾配区間の解消、歩道や付属施設の整備により安全が確保され、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
生活環境の整備	消防ポンプ自動車購入事業	経年使用で消防車両の劣化及び性能低下がみられるため、消防・防災力を維持するためにも、車両を更新する必要がある。	○消防ポンプ自動車 ・CD-1型水槽付	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し、地域の消防・防災に係る維持管理体制の構築を行う。 当該事業を実施したことにより、緊急時に必要とされる性能が維持・確保され、地域の持続的発展が図られた。
子育て環境の確保、 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	老人福祉施設改修等事業	老人福祉センター（デイサービスセンター併設）は、建設から26年が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○老人福祉センター照明等修繕 ・浴室照明、スピーカー撤去	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施することにより、施設利用者に対する集いの場の機能が向上するとともに介護保険事業が円滑に推進され、施設環境の改善及び利便性の確保、施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
医療の確保	南郷診療所医療機器整備事業	医療用機器等の老朽化（耐用年数経過）がみられることから、計画的に各年度において医療機器等の更新・導入を行う必要がある。	○ホルター記録器更新	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施することにより、診療所の医療用設備が充実し、より安心・安全な診療の運営が実現するとともに、利用者の利便性の向上、地域の持続的発展が図られた。
教育の振興	南郷体育施設改修事業	屋内運動場は、平成10年の建設から令和3年で23年を経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○南郷屋内運動場空調機修繕 ○南郷屋内運動場バックネット更新 ○南郷屋内運動場転圧ローラー更新	和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、近年の余暇時間増大に伴う健康づくり意識の高まりやスポーツを日常化する生涯スポーツの重要性の高まりの背景を受け、地域住民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境が創出され、利用者に対する利便性の向上及び施設内環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。
教育の振興	南郷地区児童生徒通学支援事業	南郷地区の学校の統廃合により、公共交通機関がない遠隔地からの児童生徒に対する交通手段を、マイクロバスとタクシーを組み合わせたかたちで確保する必要がある。	○スクールバス運行等通学支援業務委託	和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し児童生徒の交通手段の確保を行う。 当該事業を実施したことにより、安心して学校生活を過ごせる環境が確立され、将来を担う子供たちの人材育成につながり、地域の持続的発展が図られた。
地域文化の振興等	南郷文化ホール改修事業	建設から10年以上が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○ワイヤレスマイク装置取替 ○コンデンサーマイクロフォン更新 ○マイクロフォンスタンド更新 ○カッタースポットライト更新	令和3年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施することにより、公演等の催事における利用者の利便性が向上し、施設環境の改善及び利便性の確保、施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和3年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
地域文化の振興等	南郷文化ホール活用促進事業	専門的知識を有する職員を雇用し、地域の特性をいかした各種企画を展開するとともに舞台芸術公演等を充実させ、これまで以上に地域住民が多様な文化芸術に触れる機会を創出することにより、施設の利活用促進を図る必要がある。	○文化芸術推進員報酬 ○文化公演事業委託料	令和3年度の過疎対策事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化公演事業が中止を余儀なくされたことから、一部未実施となった。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の利活用の促進を行う。 当該事業を実施したことにより、ホールの利用率及び集客力の向上及び地域住民が多様な文化芸術に触れる機会が増えることで、感受性豊かな人材育成につながり、地域文化の振興や地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館交流推進対策事業	島守地区の自然や文化を活用した学習会や観察会、ウォーク等を開催する他、地区で収穫されるそばやもち米を使った、新そばまつり、年越しそば、切り餅の販売を行い、年間を通じて地域の特性を活かした事業を展開し、高齢化や後継者不足が進む傾向にある当該地区内をはじめ外部からの人材確保や協力体制の仕組みをつくる必要がある。	○八戸市島守田園空間博物館交流推進対策事業	令和3年度の過疎対策事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交流推進対策事業の中止を余儀なくされたことから、一部未実施となった。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し地域活性化を行う。 当該事業を実施したことにより、島守地区の自然や文化等について他地域との交流及び機会の提供場所として積極的に展開する施設の利活用が促進され、地域の持続的発展が図られた。